



「ありがとう忘れないよ」

3月15日に行われた弟子屈中学校(杉山稔校長)卒業式での1コマです。友人や後輩、先生方との別れを惜しみながら、3年間慣れ親しんだ学びやを巣立ちました。

(関連記事24～25ページ)

Public relations magazine

2016.4

No.740

てしかが

主な内容

- 平成28年度町政執行方針……………②
- 平成28年度教育行政方針……………⑥
- 働くあなたを応援します……………⑩
- 防災ワンポイントコーナー……………⑫
- 町税などの納期限/夜間納税窓口開設…⑮

むかしむか史 (306)

てしかが歴史写真館¹⁸⁰



いつかどこかに第2展望台が…
(摩周湖第1展望台から摩周湖を臨む)

夢のある展望台

「第1があって、第3もあるのに、第2はない？何かウラがある？確かに裏もある」…。そんなクイズになりそうなのは、皆さんもよくご存じの、摩周湖にある展望台です。

今でこそ、世界中に名を広めている摩周湖ですが、そもそもはアイヌの人たちに「キムタアレンカムイトー(奥山にある神の湖)」と称されたところ。何かのついでに立ち寄るような場所ではなく、1年のうちに数えるほどの人たちが通り、何とか踏み分けたような跡がついているに過ぎませんでした。

摩周湖第1展望台への道路が整備されたのは1929(昭和4)年。弟子屈の駅裏から直線道路が着工されました。1934(昭和9)年には周辺一帯が阿寒国立公園に指定されたことも追い風となり、大勢の観光客が押し寄せました。そこで、観光客間の1カ所集中を避け、皆さんに歩きながらの風景も堪能してもらいたいとの思いから、第2、第3の展望台整備を進めたのです。予想外だったのは、第1と第3をつなぐ間、つまり第2展望台の設置を目指した辺りが、あまりにも傾斜が急で陰しい崖が続いていて、整備利用が困難だったことです。これまでも何度か、第1展望台から第3展望台へ続く4キロの散策道路計画案が浮上していますが、実現はしていません。予定された場所自体、すでに記憶の彼方です。

雪が道路を覆う期間、第1展望台から第3展望台を經由して川湯へ続く道道は通行止めとなり、スノーシュー(西洋かんじき)を楽しむ人たちに人気のコースとなっています。今のところ、摩周第2展望台は、このときだけしか立ち寄れない展望台。立ち寄った方それぞれのオリジナル展望台が出現するのです。「いつか実物ができるかもしれない」と思えるのが、摩周第2展望台です。

てしかが郷土研究会(斎藤)

てしかが 2016.4

毎月1回発行 発行/弟子屈町 編集/まちづくり政策課 ☎482-2913 ☎482-2696
〒088-3292 弟子屈町中央2丁目3番1号 URL <http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

R100 この広報紙には再生紙を使っています